

危機事案・暮らしの安心対策特別委員会記録

1 会議の日時	開 会 午前 9 時 57 分			
	令和7年10月8日			
	閉 会 午前 10 時 39 分			
2 会議の場所	第4委員会室			
3 出 席 者	委 員	委員長 猫田 孝 委 員 伊藤 正博 川上 哲也 森 治久	副委員長 野島 征夫 佐藤 武彦 加藤 大博 平野 恒子	平岩 正光 山内 房壽
	執 行 部	別 紙 配 席 図 の と お り		
4 事務局職員		主査 古田 健児	主事 河村 知紗	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 インフラ整備に関する調査について (1) 国道21号岐大バイパス 岐阜市内立体事業について 参考人 国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 所長 宮本 久仁彦 氏	
2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○猫田孝委員長

ただいまから、危機事案・暮らしの安心対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、国道21号岐大バイパス 岐阜市内立体事業についてを議題とし、協議いただくため開催したものである。

本日は、執行部のほか、議題について報告いただくため、国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 所長 宮本久仁彦様に出席いただいている。

宮本様におかれでは、大変御多用のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

ぜひ、活発な意見交換ができればと思うので、よろしくお願ひしたい。

なお、質疑については、報告終了後にお願いする。

それでは、宮本様に報告をお願いする。

（報告 参考人 国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 所長 宮本久仁彦 氏）

○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質問はあるか。

○加藤大博委員

立体事業全体について、想定している事業期間と事業費はどれぐらいか。

○宮本参考人

事業期間は、今後工事着手後の状況を踏まえて検討したい。事業費は、全体で1千億円以上になる大規模な事業である。

○加藤大博委員

工事期間中の渋滞対策として、時差出勤などで交通渋滞を減らす、みちみちすいせいプロジェクトを実施中のことだが、効果は出ているか。

○宮本参考人

道路交通センサスの結果からは減少傾向であるが、全てが当プロジェクトの効果であるかは不明である。今後は、人口減少や、東海環状自動車道の開通による広域的な迂回により、国道21号の交通量は減る可能性があると想定している。

○猫田孝委員長

昼間は工事を行わないのか。

○宮本参考人

施工内容は限定されるが、作業の安全性や現道の交通状況を考慮し、可能な範囲の施工を昼間に行いたいと考えている。

○猫田孝委員長

工事による通行止めは発生するか。

○宮本参考人

施工内容によっては、夜間において通行止めが必要となる。その際は、地元の皆様に向けてしっかりと広報していく。

○野島征夫副委員長

この事業では、用地取得は必要か。

○宮本参考人

穂積大橋へのアプローチ部で、一部用地買収が必要な箇所がある。

○加藤大博委員

整備効果として交通事故減少が上げられているが、根拠はあるか。

○宮本参考人

道路構造等を条件に推計で算出したものである。

○佐藤武彦委員

おおよその目標でもいいので、完成時期を示せないか。

○宮本参考人

具体的な完成時期はお示しできないが、最速で完成できるよう進めていく。

○佐藤武彦委員

事業費を多く投入すれば完成時期は早くなるのか。

○宮本参考人

施工箇所が狭隘なため、周辺交通の状況を見つつ、作業員の安全性を確保しながら工事を進めていく必要がある。事業費が多くあれば、それに応じて工事が進むとは限らない。

○川上哲也委員

工事の進捗に応じて部分供用する可能性はあるか。

○宮本参考人

今後、慎重に検討していきたい。

○加藤大博委員

雨水対策、排水対策はどうなっているのか。

○宮本参考人

道路排水の流末は河川や水路となる。河川や水路管理者である県や市と協議し、適切な排水処理となるよう進めていく。

○加藤大博委員

近年の局所的な大雨等を考慮した設計になっているのか。

○宮本参考人

最新の基準を満たした設計を行っている。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。

(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見がないようなので、本日の委員会を閉会する。

危機事案・暮らしの安心対策特別委員会 配席図

令和7年10月8日

第4委員会室

